

平成28年度中間決算の概要



75年の感謝

平成28年11月



すべてを地域のために

東邦銀行

目次

I. 福島県の現状～復興から成長へ～

1. 福島県の現状2
2. 震災からの復興状況.....3
3. 成長に向けた歩み【観光業】4
成長に向けた歩み【産業振興】5~6
成長に向けた歩み【産業の集積状況】7

II. 平成28年度 中間決算の概要

1. 平成28年度中間決算の概要.....9
2. 業容関連
(1) 総預かり資産の状況10
(2) 貸出金の状況11
3. 収益関連
(1) 資金利益の状況12
(2) 役務取引等収益（手数料収入）の状況13
4. 経営体質
(1) 貸出資産の質14
(2) 経営の健全性15
(3) マイナス金利政策に対する取組み.....16
5. 配当金・株主さまご優待制度.....17

III. 東邦銀行の取組み

1. 中期経営計画の進捗状況19
2. ふくしまの“復興から成長”への貢献
(1) 地域の創生・発展への積極的な参画20
(2) お取引先の販路拡大支援21
(3) 多様な資金ニーズへの対応と
海外マーケットへの進出支援22
(4) 経営課題提案型営業・事業再生支援等.....23
3. お客さまから選ばれる銀行づくり
(1) 個人のお客さまに向けた取組み24
(2) 資産運用のお手伝い25
(3) 個人のお客さま向けローンの取組み26
(4) 店舗・チャネル戦略27
4. 持続可能な企業体質の確立
(1) 地方銀行連携・フィンテック分野への取組み.....28
(2) 人材育成への取組み.....29
(3) 多様な働き方の推進と働きがいの向上.....30
(4) 活発なクラブ活動.....31
(5) 障がい者が働きやすい職場づくり32
(6) 地域貢献活動（CSR）の取組み33~34
5. 創立75周年記念事業35~36

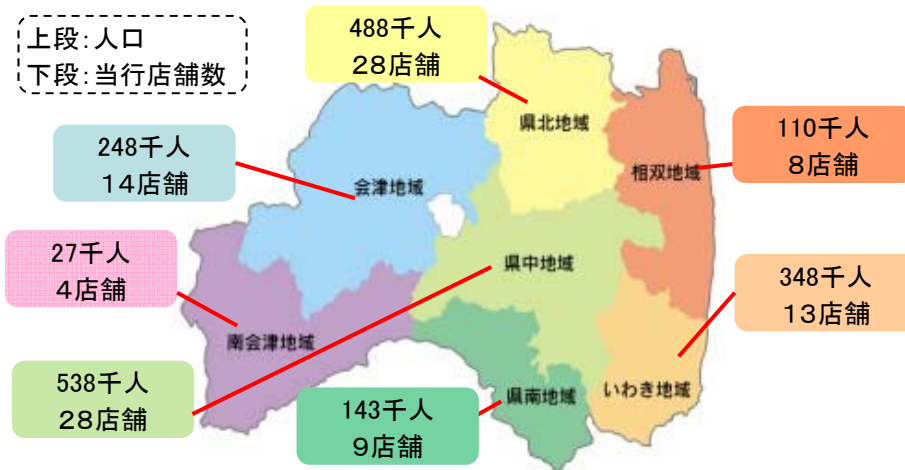
I. 福島県の現状 ～復興から成長へ～

1. 福島県の現状

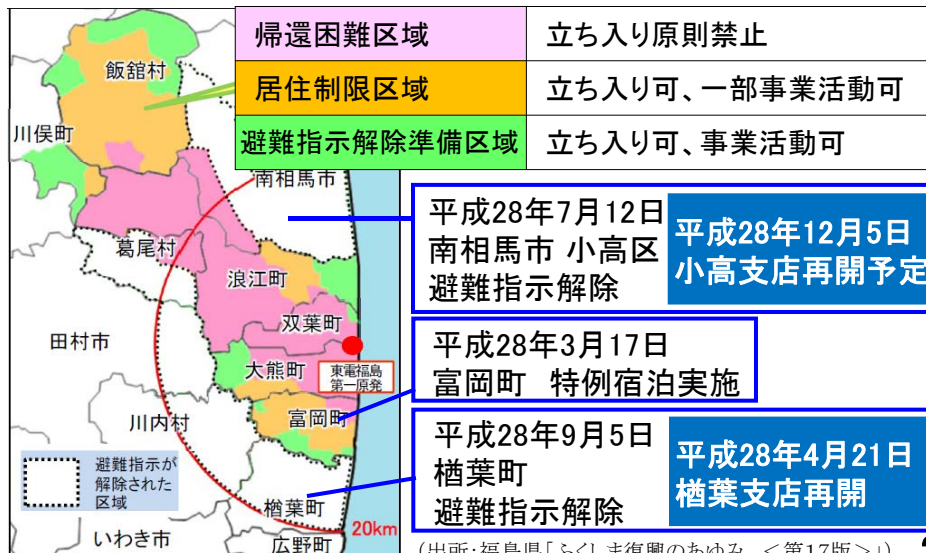
福島県の概況

◆ 人口約190万人<平成28年10月1日現在>

◆ 県内59市町村(13市、31町、15村)



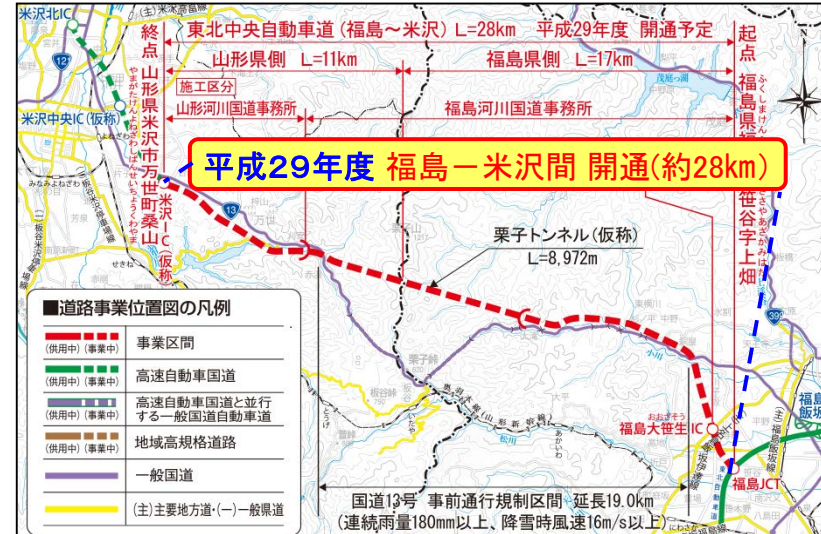
被災地区の現状



交通インフラの復旧・整備状況

○東北中央自動車道の全体像

・相馬市を起点に山形県を經由、秋田県横手市に至る延長約268kmの高規格幹線道路



(出所: 東北地方整備局山形河川国道事務所HP、福島県HP)

鉄道・高速道路

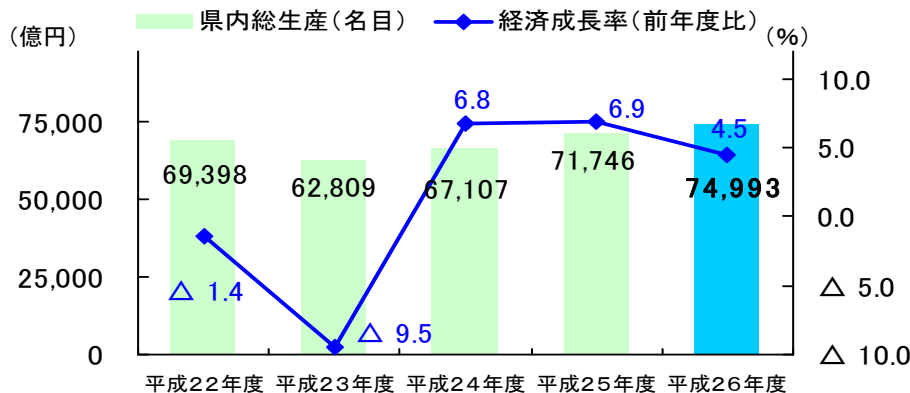
- ◆ JR常磐線(H32春全線開通見込み)
- ◆ 常磐自動車道(H27.3全線開通)
- ・いわき中央IC～広野IC間4車線化 H32年度末

2. 震災からの復興状況

	震災前（平成22年度）	震災直後（平成23年度）	足元の状況
人口	○人口 202万人 （平成23年3月1日） ○合計特殊出生率 1.52	○人口 197万人 （平成24年3月1日） ○合計特殊出生率 1.48	○人口 190万人 （平成28年10月1日） ○合計特殊出生率 1.60 （平成27年）
経済	○県内総生産(名目) 6兆9,765億円 ○有効求人倍率 0.42倍	○県内総生産(名目) 6兆3,574億円 ○有効求人倍率 0.59倍	○県内総生産(名目) 7兆4,993億円 （平成26年度） ○有効求人倍率 1.35倍 （平成28年9月）
産業	○建設業 公共工事請負金額 1,847億円 ○製造業 製造品出荷額等 5兆900億円 （東北1位） ○農業 水稻収穫量 44万t (全国4位) 農業産出額 2,330億円	○建設業 公共工事請負金額 2,491億円 ○製造業 製造品出荷額等 4兆3200億円 （東北1位） ○農業 水稻収穫量 35万t (全国7位) 農業産出額 1,851億円	○建設業 公共工事請負金額 8,612億円 (平成27年) ○製造業 製造品出荷額等 5兆990億円 （平成26年） （東北1位） ○農業 水稻収穫量 36万t 全国5位（平成27年） 農業産出額 1,837億円 （平成26年）

県内経済指標

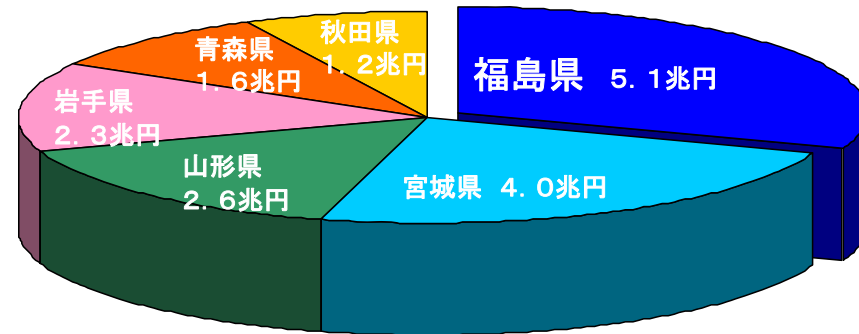
3年連続プラス成長・震災前を上回る水準



(出所: 福島県「平成26年度福島県民経済計算(早期推計)」)

製造品出荷額等

3年連続増加・震災前水準まで回復
福島県は、東北1位の出荷額



(出所: 経済産業省「平成26年工業統計調査」)

3. 成長に向けた歩み【観光業】

「酒どころ 福島」

全国新酒鑑評会 4年連続日本一！

金賞受賞数

平成24酒造年度 26銘柄
平成25酒造年度 17銘柄
平成26酒造年度 24銘柄
平成27酒造年度 18銘柄



(出所: 日本酒造組合中央会)

【清酒製造企業数 全国4位】

清酒製造企業数		
順位	都道府県名	企業数
1	新潟	89
2	長野	81
3	兵庫	74
4	福島	67
5	福岡	58

(出所: 国税庁「清酒製造業の概況」(平成26年度))

全国有数の温泉地・豊富な観光資源

全国でも有数の温泉地数を有し、豊富な観光資源に恵まれる

◆旅行予約サイト「楽天トラベル」
『紅葉旅行が人気のエリア』で「磐梯高原・裏磐梯」が1位

【平成26年度温泉地数・全国順位】

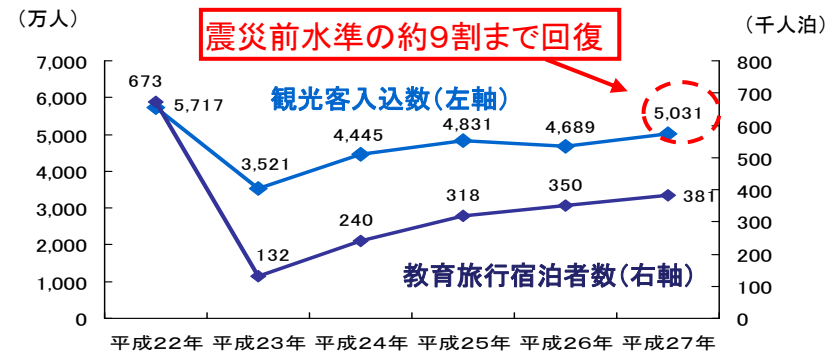
順位	都道府県	温泉地数
1	北海道	246
2	長野県	221
3	新潟県	151
4	福島県	134
5	青森県	132

(出所: 環境省「平成26年度温泉利用状況」)



裏磐梯の紅葉

観光客入込数



【平成27年宿泊旅行統計調査・全国順位(1月～12月)】

順位	都道府県	述べ宿泊者
1	東京都	59百万人
2	北海道	32百万人
13	福島県	11百万人
14	宮城県	10百万人
15	栃木県	10百万人

(出所: 福島県「平成27年観光客入込状況」、「平成27年度福島県教育旅行入込調査報告書」)

— 広域的な観光周遊ルートの形成促進 —

東北観光推進機構

当行会員参加
(行員派遣中)



東北観光の認知度向上と、国内外観光客の誘致等を推進
広域のスケールメリットを生かし、官民連携による観光振興事業
を展開

観光庁「広域観光周遊ルート形成促進事業」認定
「日本の奥の院・東北探訪ルート」(鶴ヶ城や地酒蔵元見学)

3. 成長に向けた歩み【産業振興①】

企業立地

○ふくしま産業復興企業立地補助金

【平成27年12月現在】

指定企業数 446社 採択金額 約2,000億円

➡約5,300人の雇用創出見込み

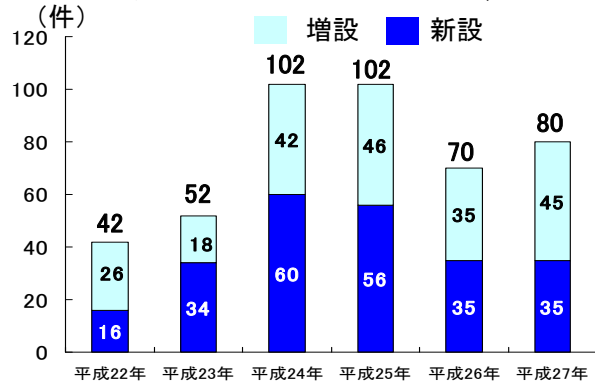
○津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金

【平成27年11月現在】

指定企業数 191社 採択金額 約880億円

➡約2,300人の雇用創出見込み

○県内工場新增設の動き(敷地面積1,000㎡以上)



(出所:福島県)

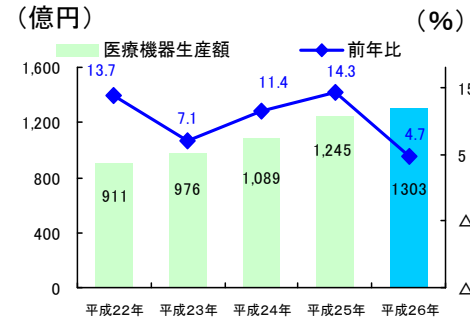
【福島県の工業】

項目	数値	東北順位	全国順位	調査年
事業所数	3,798事業所	1	19	H26
従業者数	152,768人	1	19	H26
製造品出荷額等	50,990億円	1	21	H26

出所:福島県HP、東北経済産業局「平成26年東北地域の工業(確報)」

医療関連機器生産

5年連続増加・全国3位の生産県



【医療関連機器生産額 全国順位】

平成22年	911億円(全国6位)
平成23年	976億円(全国5位)
平成24年	1,089億円(全国4位)
平成25年	1,245億円(全国3位)
平成26年	1,303億円(全国3位)

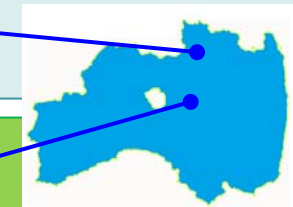
(出所:厚生労働省「業事工業生産動態統計」)

○進む医療機器等生産開発拠点整備

【ふくしま国際医療科学センター(医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター)】



場所:福島市光が丘地内(県立医大)
開所:平成28年9月開所
運営:福島県立医科大学



国内初

【ふくしま医療機器開発支援センター】



場所:郡山市富田町地内
(県農業試験場跡地)
開所:平成28年11月開所予定
運営:(一財)ふくしま医療機器産業推進機構

(出所:福島県HP)

3. 成長に向けた歩み【産業振興②】

イノベーションコースト構想

震災と原発事故による産業・雇用への打撃

廃炉・ロボット技術の研究開発・エネルギー関連産業の集積・農林水産業の再生 など

住民の帰還の促進と浜通りの再生

国際産学連携拠点

- ◆ 「大熊分析・研究センター」(H29年度一部運用開始)
 - ・燃料デブリ等の性状把握や処理技術の開発【大熊町】
- ◆ 「廃炉国際共同研究センター国際共同研究棟」(H29年4月開所予定)
 - ・国内外の研究機関、企業等による廃炉研究と人材育成【富岡町】
- ◆ 「楢葉遠隔技術開発センター(モックアップセンター)」(H28年4月全面運用開始)
 - ・原子炉格納容器の調査・補修用ロボット等の開発や実験等【楢葉町】

ロボット開発・実証拠点

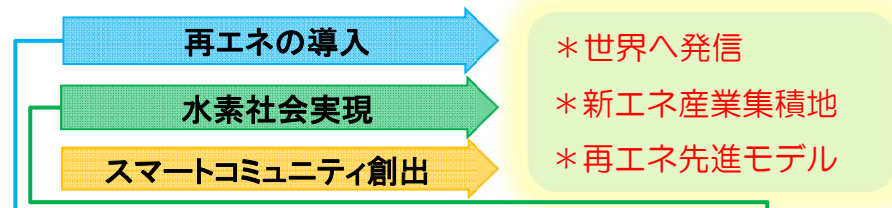
- ◆ 「ロボットテストフィールド」(H28～設計等開始)
 - ・災害対応ロボット等の実証試験等【南相馬市・浪江町】
- ◆ 「国際産学官共同利用施設(ロボット)」(H28～設計等開始)
 - ・ロボットの基礎的研究等【南相馬市】

新たな産業集積

- ◆ 「石炭ガス化複合発電(IGCC)事業」(H29年春～工事着手)
 - ・世界最新鋭のIGCC設備を2基新設し、石炭利用技術の一大拠点化【広野町・いわき市勿来】
- ◆ 「福島新エネ社会構想」
- ◆ 農林水産業プロジェクト
 - ・農業用ロボットの開発・実証、CLTの推進、水産研究拠点など

福島新エネ社会構想

○イノベーションコースト構想の新エネルギー分野を加速化し、福島県を未来の新エネルギー社会先取りモデル創出拠点とする



○浮体式洋上風力発電設備「ふくしま未来」



○産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所

世界最大級の水素工場を建設

※2020年東京オリンピックまでの稼働を目指す

↓

水素エネルギーの一大生産地化

ロボット・航空宇宙産業の集積

○ロボット産業

- ▼大手企業が医療・福祉用ロボット開発拠点を郡山市に設置
- ▼南相馬市において大手企業が地元企業と連携し、無人航空機開発を開始

○航空宇宙産業

- ▼大手企業が相馬市に航空機関連部品生産拠点の工場を新設
- ▼航空エンジン部品出荷額全国2位(H26:約1,300億円)

3. 成長に向けた歩み【産業の集積状況】

エネルギー関連・医療産業・アグリビジネス・ロボット開発等、研究開発・産業創出拠点の整備が進む

【会津地域】

- 会津大学 先端ICTラボ(リクティア)
- 会津若松スマートシティ
- 会津電力
- 会津若松ウインドファーム
- 木質バイオマス発電所

木質バイオマス発電所



提供: (株)グリーン発電会津

医療-産業トランスレーショナル
リサーチセンター



出所: 福島県HP

国際廃炉研究開発拠点



出所: 福島県HP

イノベーション・コースト構想

- 国際産学連携拠点
- ロボット開発・実証拠点
- 新たな産業集積

【県北地域】

- 医療-産業トランスレーショナル
リサーチセンター(福島県立医科大学)

【相双地域】

- 相馬港LNG基地等整備
- 富岡復興メガソーラー・SAKURA
- 波倉メガソーラー発電所
- 南相馬ソーラーアグリパーク
- 大熊町ふるさと再興メガソーラー
- いたてまでいな太陽光発電事業
- 懸の森太陽光発電所

【県中地域】

- 産業技術総合研究所
福島再生可能エネルギー研究所
- ふくしま医療機器開発支援センター
- 三春町環境創造センター
- 郡山市布引高原風力発電所
- 福島空港メガソーラー
- 風の谷Ten-ei天栄風力発電所
- サイバーダイン(株)郡山工場



【いわき地域】

- 石炭ガス化複合発電(IGCC)
(広野町・いわき市勿来)
- 小名浜港湾機能強化事業
- 浮体式洋上風力発電設備
「ふくしま未来」「ふくしま新風」

【県南地域】

- 西郷村太陽光発電事業
- ユーラス矢吹中島ソーラーパーク
- 白河ウッドパワー

ふくしま医療機器開発支援センター



(イメージ)

出所: 福島県HP

ユーラス矢吹中島ソーラーパーク



提供: ユーラスエナジー
ホールディングス

Ⅱ. 平成28年度中間決算の概要

1. 平成28年度 中間決算の概要

(単位:億円)		28年度 中間期	27年度 中間期	前年 同期比
経常収益(売上)	①	331	322	+8
コア業務粗利益(粗利益)	②	236	238	△2
資金利益(④+⑤-⑥)	③	197	197	+0
貸出金利息	④	141	148	△6
有価証券利息・配当金	⑤	62	58	+4
預金等利息(△)	⑥	5	9	△4
役務取引等利益(手数料収支)	⑦	38	44	△6
経費	⑧	189	186	+2
人件費	⑨	94	93	+0
物件費	⑩	84	82	+2
うち減価償却費	⑪	12	10	+2
うち預金保険料	⑫	10	9	+1
コア業務純益(営業利益)	⑬	47	51	△4
有価証券関係損益	⑭	9	22	△12
国債等債券売買損益など	⑮	5	11	△6
株式等関係売買損益など	⑯	3	10	△6
信用コスト(与信関係費用)	⑰	戻入益 △3	繰入額 2	費用減 △6
経常利益	⑱	61	75	△13
税引前中間純利益	⑲	60	74	△13
税金費用	⑳	16	24	△8
中間純利益	㉑	44	49	△5

平成28年度中間決算のポイント

コア業務純益 47億円

- ③**資金利益**は、有価証券の効率的運用と調達コストの減少により**前年同期比微増**
- ⑦**役務取引等利益**は、保険や投資信託などの預かり資産収益の減少等により、**前年同期比減少**
- ⑩**物件費**は、前期に実施した積極的投資(ATM更改、店舗・研修所等)により償却費負担が増加し、**前年同期比増加**

経常利益 61億円

- ⑭**有価証券関係損益**は、株式市場の低迷などもあり**前年同期比減少**
- ⑰**信用コスト**は、経営改善支援や事業再生支援などへの積極的な取組みにより**戻入益を計上**。

業績予想と実績の対比

- ⑱⑲**経常利益・中間純利益**ともに、**業績予想を上回る利益**を計上

(単位:億円)

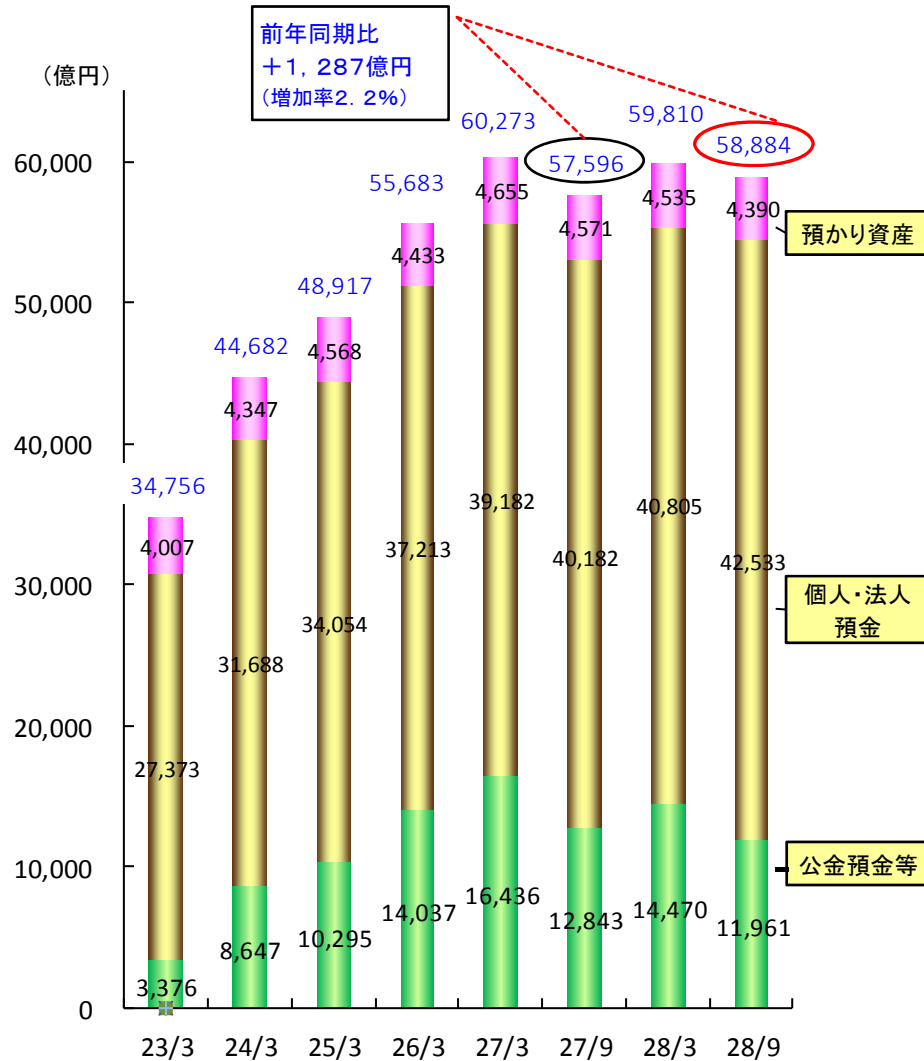
		平成28年度 中間期		
		業績予想	実績	達成率
単体	経常利益	55	61	112%
	中間純利益	40	44	110%

2. 業容関連 (1) 総預かり資産の状況

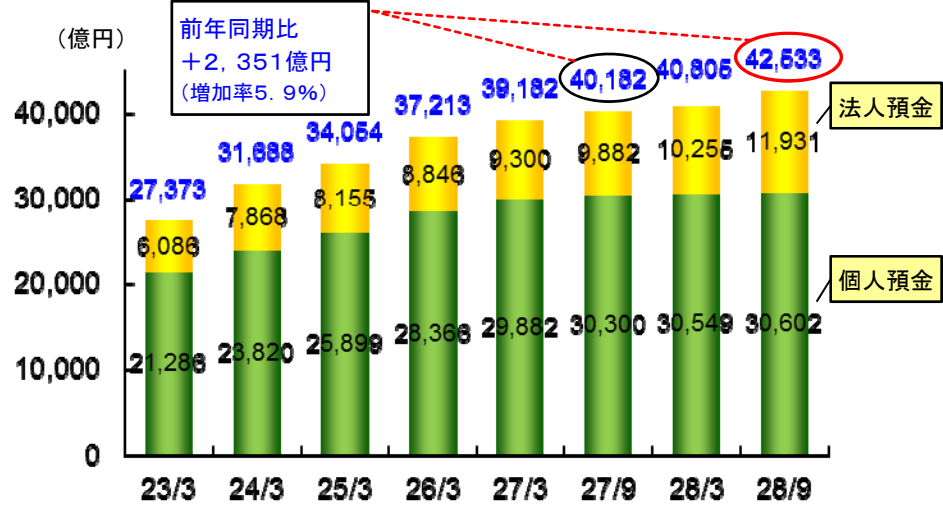
総預かり資産残高は前年同期比+1,287億円。

特に個人預金・法人預金は前年同期比+2,351億円(増加率5.9%)の大きな伸び

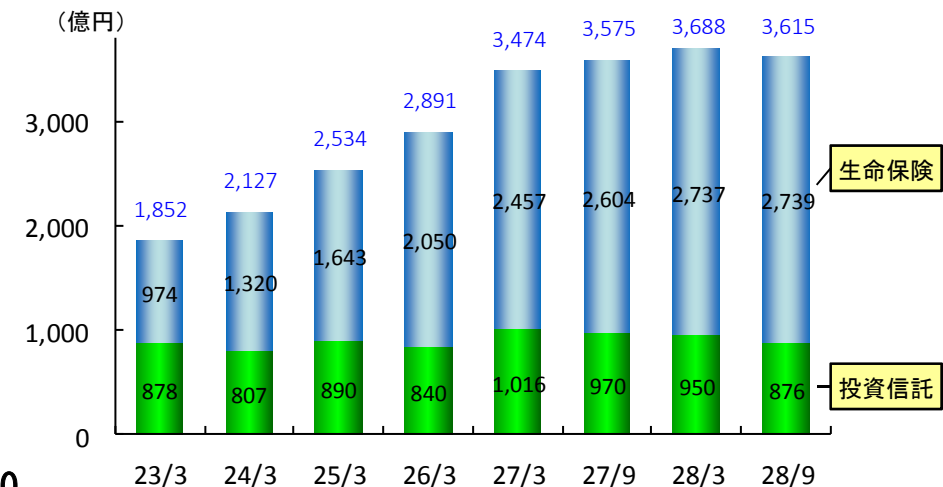
総預かり資産残高【総預金+預かり資産】の推移



個人預金・法人預金の推移



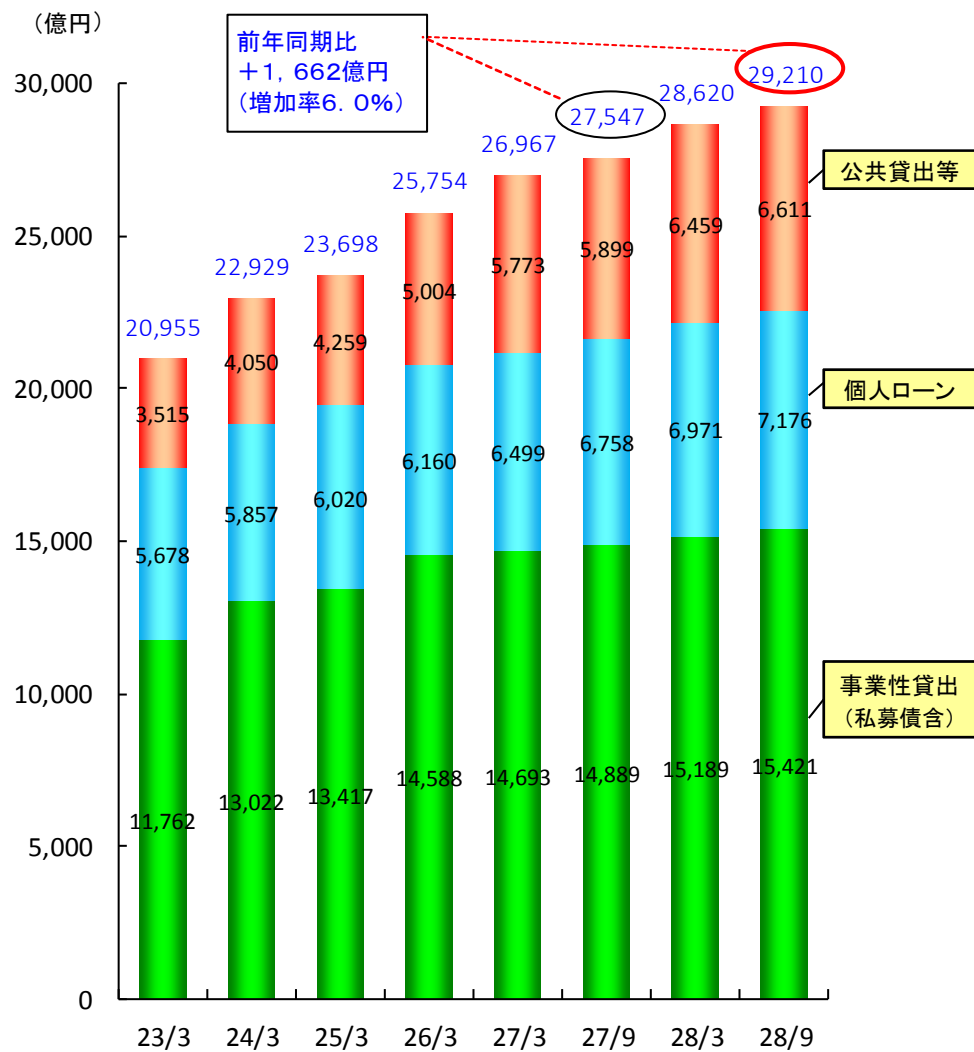
投資信託・生命保険の残高推移



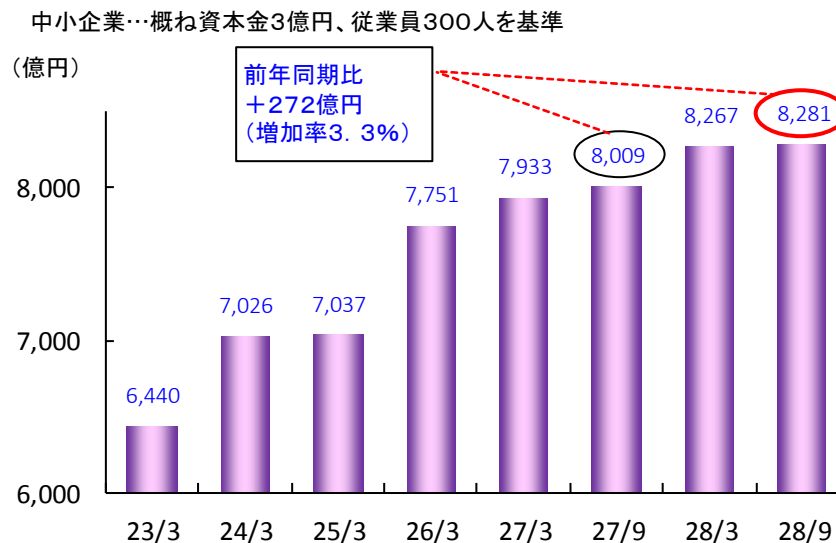
2. 業容関連 (2) 貸出金の状況

事業性貸出・個人ローン・公共貸出等、全ての貸出において順調にボリューム増加

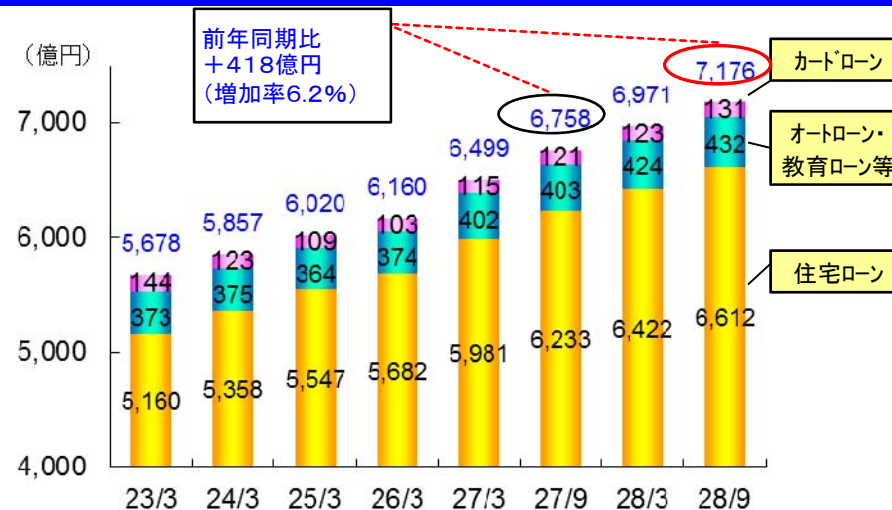
貸出金残高の推移



中小企業向け貸出金残高の推移



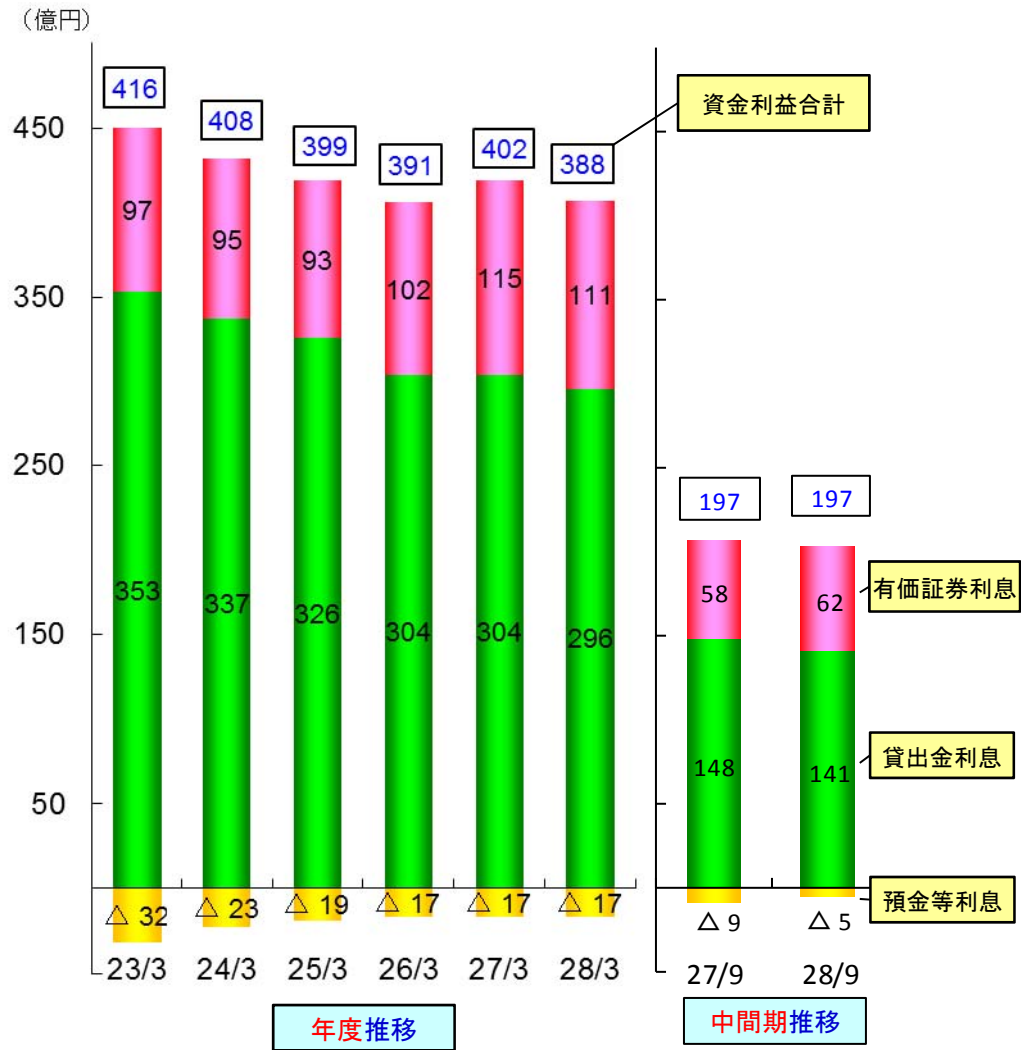
個人ローン残高の推移



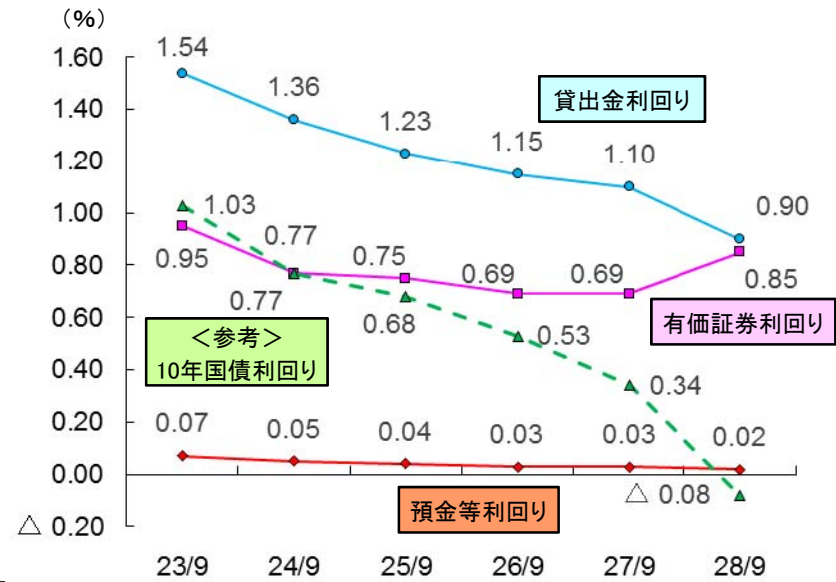
3. 収益関連 (1) 資金利益の状況

マイナス金利政策により運用利回りが低下する中、貸出金のボリューム増強等に努め**資金利益は前年並み**を確保

資金利益の内訳



利回りの推移



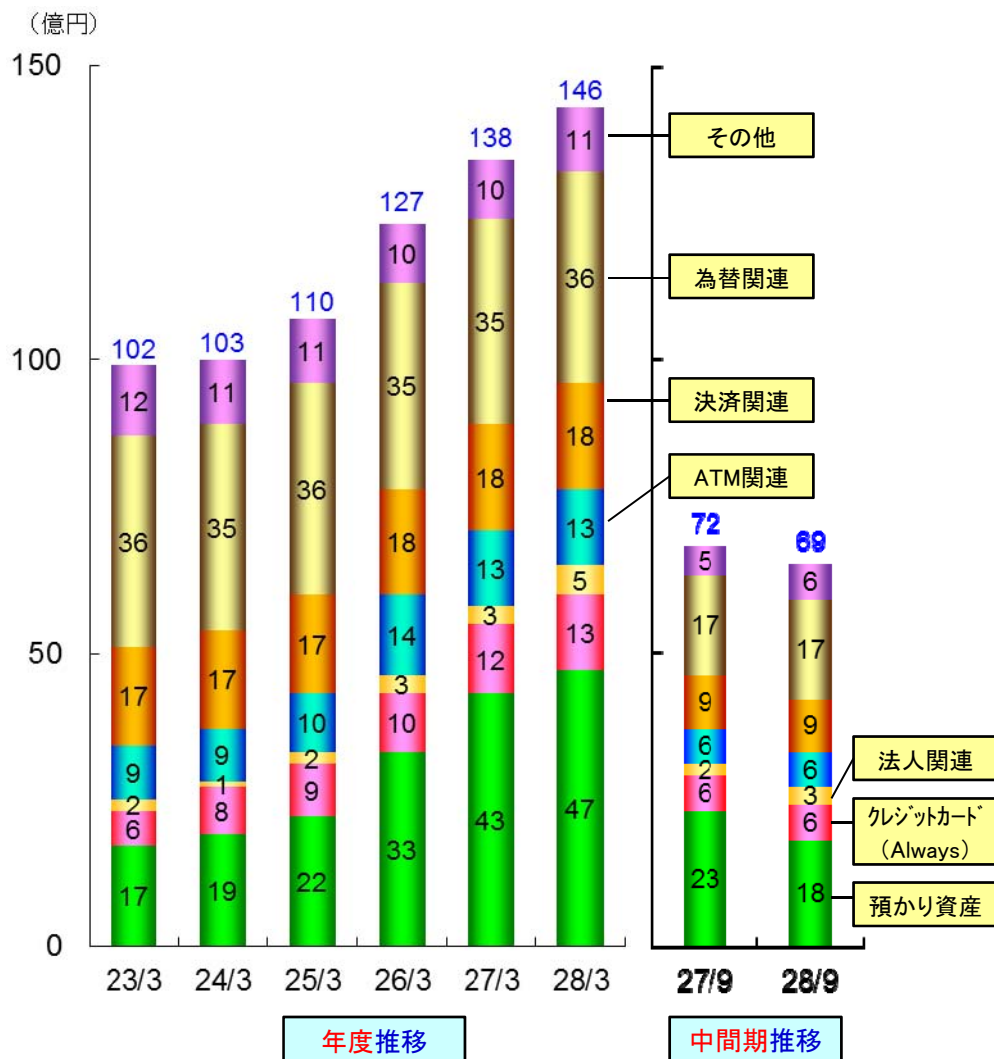
多様なファンドへの出資

- <主な出資ファンド>
- 米国シリコンバレーIT関連企業向けファンド
 - ASEAN域内中堅企業向けファンド
 - フィンテック国内ベンチャー企業向けファンド【SBIインベストメント(ソフトバンク系)】
 - 慶應義塾大学発ベンチャー企業向けファンド
 - 地方の事業承継企業向けファンド
 - 地方活性化企業向けファンド【福岡キャピタルパートナーズ(福岡銀行系)】

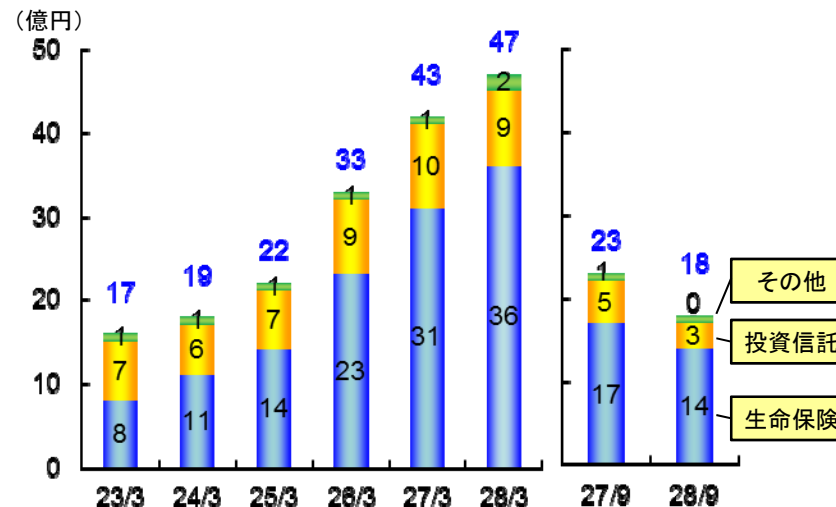
3. 収益関連 (2) 役務取引等収益 (手数料収入) の状況

法人関連手数料が増加する一方、預かり資産収益の減少もあり前年同期比△2億円

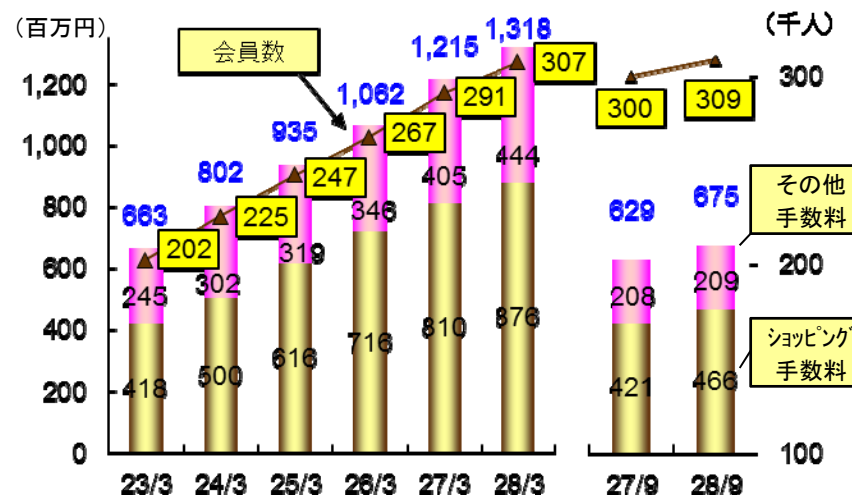
役務取引等収益の推移



預かり資産収益の推移



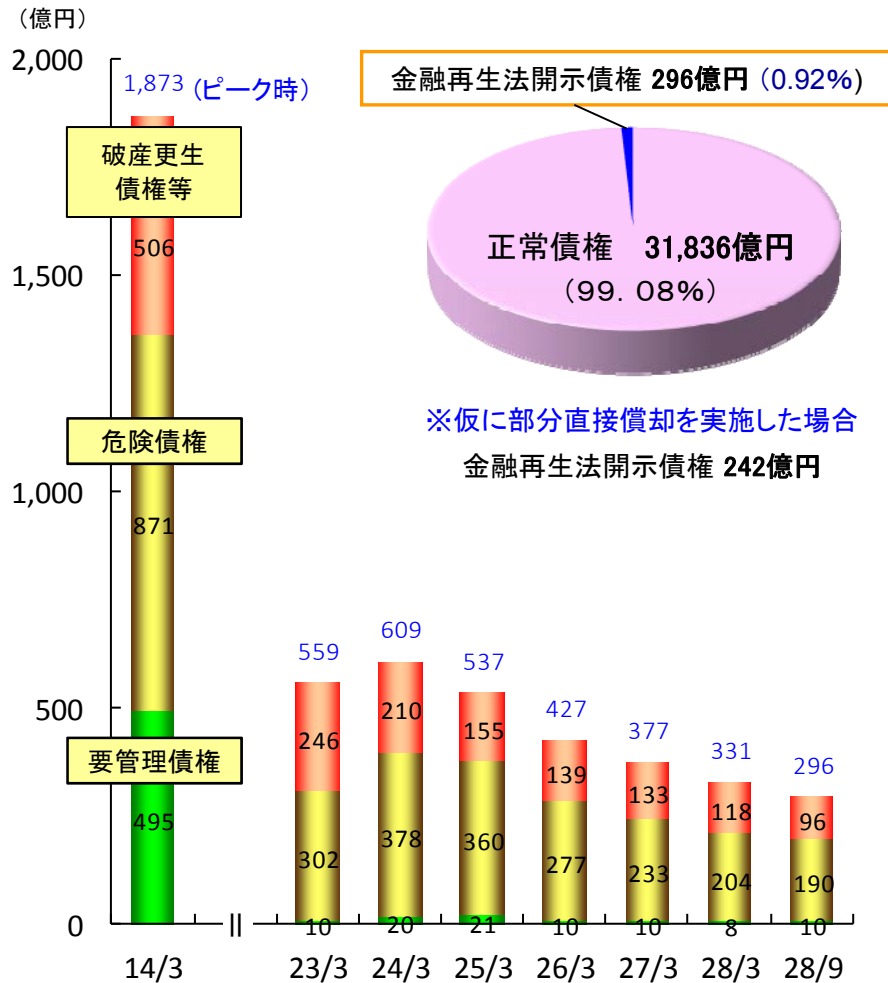
クレジットカード (Alwaysカード) 手数料の推移



4. 経営体質 (1) 貸出資産の質

金融再生法開示債権比率(≒不良債権比率)は0.92%まで低下。地銀トップクラスの水準

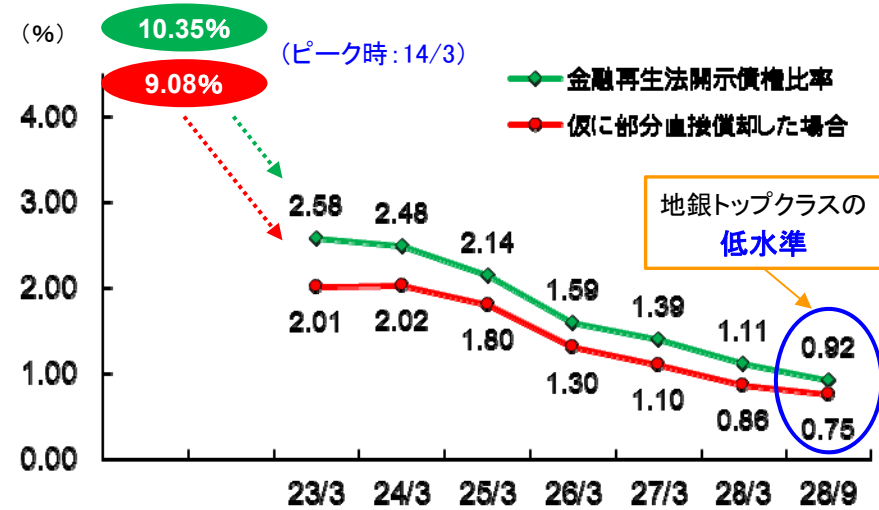
金融再生法開示債権の推移



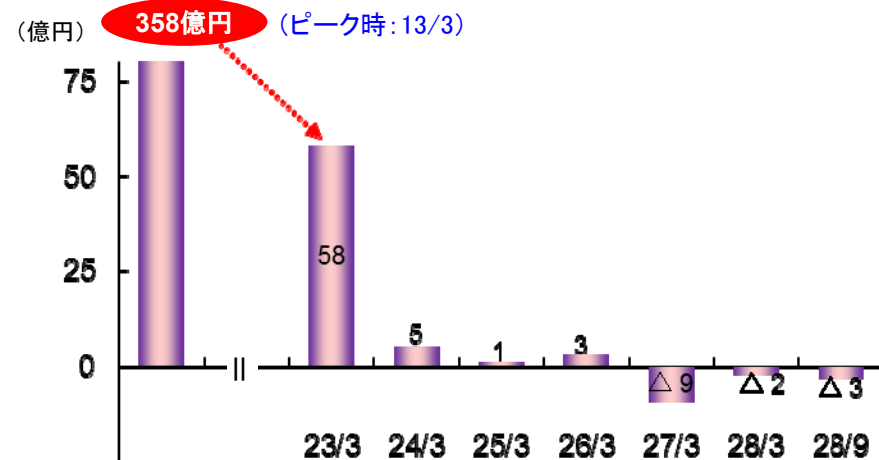
※部分直接償却

「破産更生債権等」について、回収困難と認められる額に対し個別貸倒引当金の計上ではなく、貸倒償却として債権額から直接減額すること。

金融再生法開示債権比率の推移



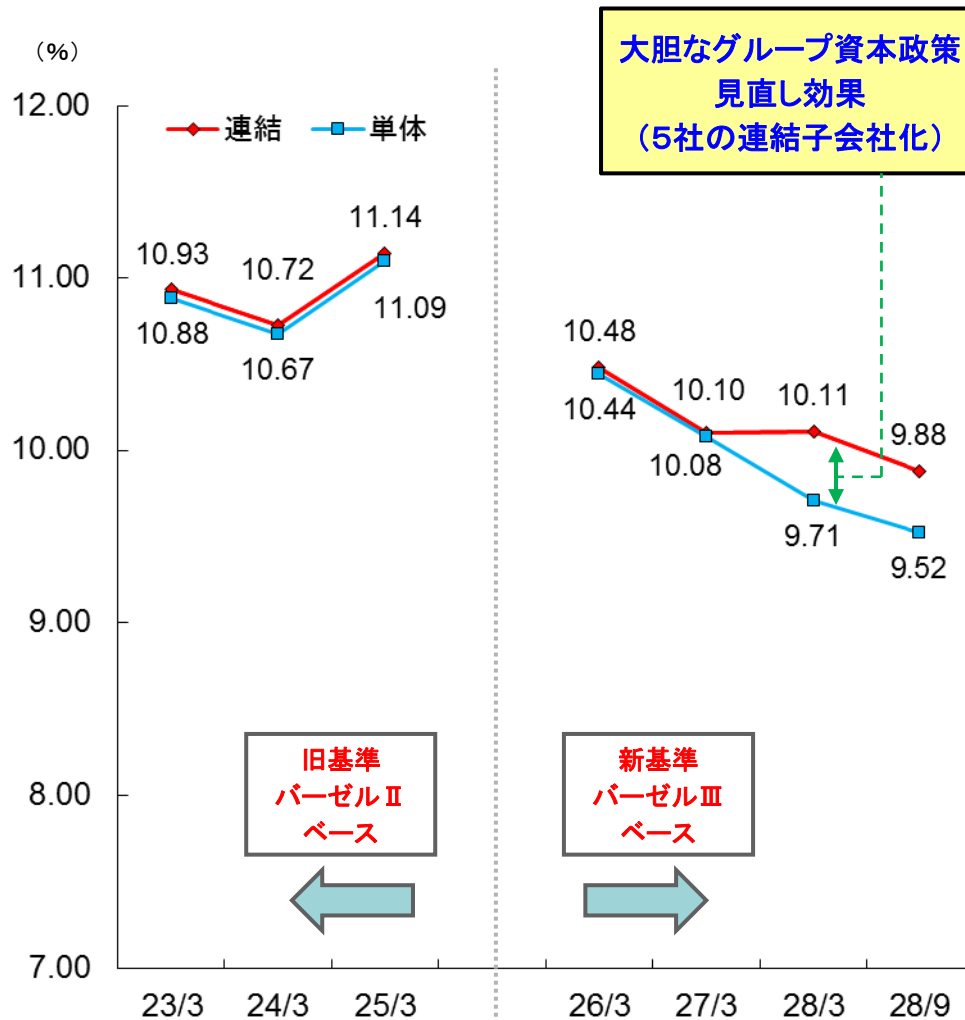
信用コストの推移



4. 経営体質 (2) 経営の健全性

自己資本比率は国内基準行の規制水準(4%)を十分に上回る

自己資本比率の推移



自己資本および総資産等の推移

連結

(億円)

	28/3	28/9	増減
自己資本 (A)	1,980	2,009	+28
総資産等 (B)	19,587	20,317	+730
自己資本比率 (A/B)	10.11%	9.88%	△0.23%

単体

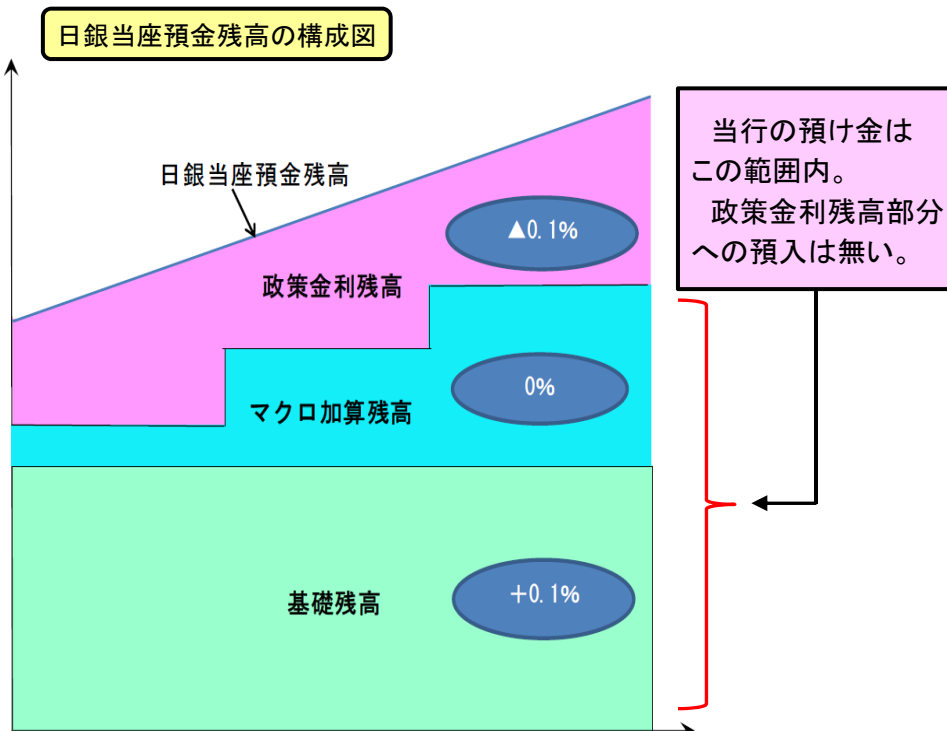
(億円)

	28/3	28/9	増減
自己資本 (A)	1,905	1,937	+31
総資産等 (B)	19,616	20,337	+721
自己資本比率 (A/B)	9.71%	9.52%	△0.19%

4. 経営体質 (3) マイナス金利政策に対する取組み

マイナス金利政策とは

- 金融機関が保有する日本銀行当座預金に、0.1%、0%、△0.1%の3段階金利を設定する日本銀行の金融政策(平成28年1月29日)
- 「量」・「質」の金融緩和に「マイナス金利」を加えた3つの緩和手段を駆使し、2%の「物価上昇率」達成を目指すことが目的
- 平成28年9月には、目標の早期実現に向け、10年物国債利回りを0%に誘導する「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を導入



(出所: 日本銀行)

当行が取組むべき課題

[マイナス金利下の経営戦略 (イメージ)]

マイナス金利政策の長期化、マイナス金利の更なる深堀り



資金利益の減少および低水準の長期化



収入・コストの両面でカバー

収入の増強

中小・小規模企業向け貸出の強化

一般個人ローン・カードローンの強化

有価証券運用の強化

手数料収入の強化

グループ総合力の発揮

ローコスト化

営業店事務の集中化

本部管理業務コストの削減

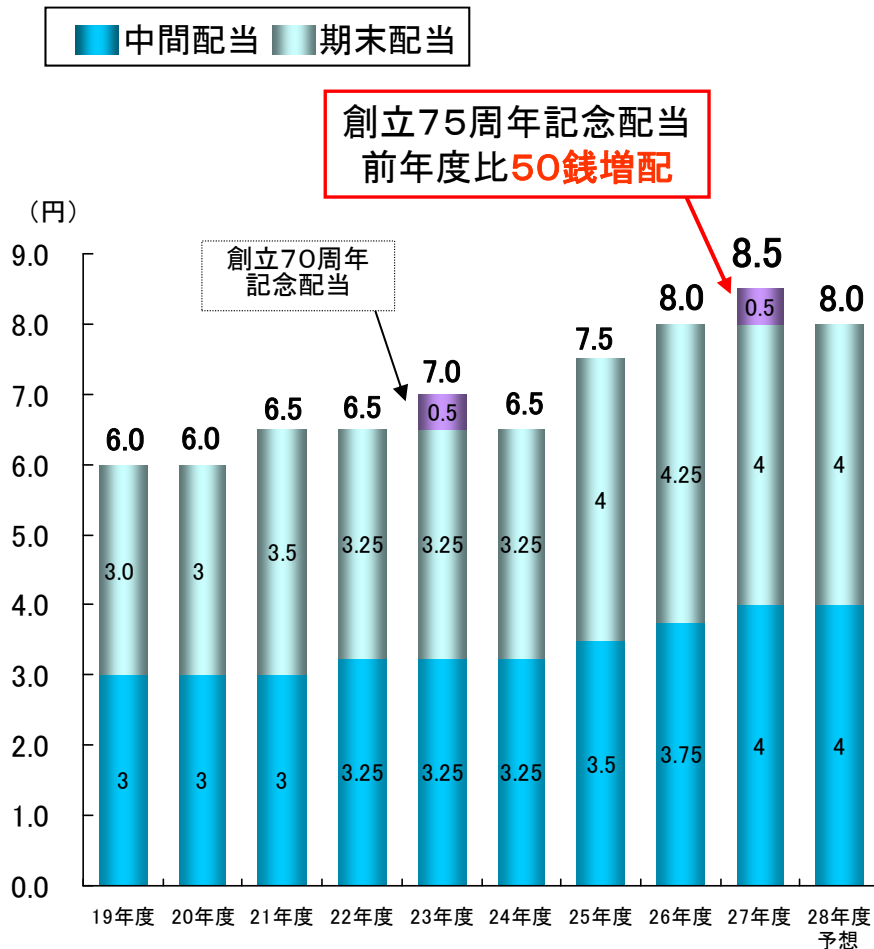
ITの活用による効率化

コスト構造改革プロジェクトによる聖域なきコスト削減
業務改革プロジェクトによる業務改革(BPR)の推進

5. 配当金・株主さまご優待制度

内部留保の充実による健全性の向上を図りながら、業績の成果に応じ弾力的に株主の皆さまへ利益を還元
平成27年度は**創立75周年記念配当50銭増配**し、1株あたり年間8.5円配当

1株あたり配当金



株主さまご優待制度

長期・大口保有株主さまへのご優待内容を拡充

保有株数・保有期間に応じた優待制度

保有株数	保有期間		
	1年未満	1年以上	5年以上
10,000株以上	3,000円 ギフトカード	8,000円 相当商品	10,000円 相当商品
5,000株以上 10,000株未満	2,000円 ギフトカード	5,000円 相当商品	8,000円 相当商品
1,000株以上 5,000株未満	1,000円 ギフトカード	3,000円 相当商品	5,000円 相当商品

<下記のカタログから1品または宿泊施設優待券を選択>

[カタログⅠ] 『ふくしまからの贈り物』

[カタログⅡ] 『TSUBASAプロジェクト連携企画特産品コース』

保有株式数1,000株以上のすべての株主さま

[定期預金金利優遇] (10万円以上300万円以内)

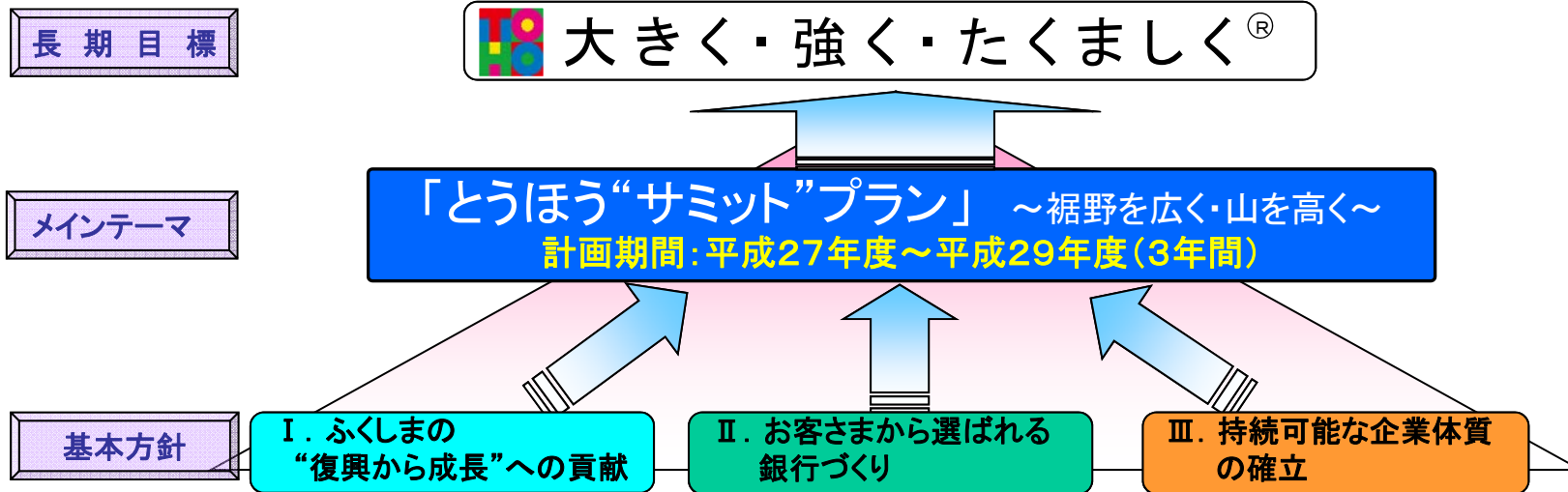
1年もの定期預金 **+0.3%金利上乘せ**

[投資信託手数料優遇] (120万円まで)

通常**申込手数料無料**

Ⅲ. 東邦銀行の取組み

1. 中期経営計画の進捗状況



対外公表計数の進捗状況

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成29年度 (中計最終年度目標)	平成33年度 (長期目標)
当期純利益	98億円	100億円	125億円	150億円
自己資本利益率(ROE)	5.52%	5.28%	6%台	
自己資本比率	10.08%	9.71%	10%台	
中核的自己資本比率(注)	8.78%	8.62%	9%台	

(注)中核的自己資本は、自己資本から劣後調達を控除したもの

計画策定時の前提	利回り	平成26年3月末	平成27年度	平成28年度	平成28年9月末 実勢レート
	TIBOR3カ月(注)	0.171%	0.142%	0.260%	0.057%
	5年国債	0.141%	0.035%	0.200%	△0.245%
	10年国債	0.405%	0.300%	0.750%	△0.089%

(注)TIBORは、Tokyo interbank Offerd Rateの略で、東京の銀行間取引金利。

2. ふくしまの“復興から成長”への貢献 (1) 地域の創生・発展への積極的な参画

地方創生への取組み

県内自治体の「地方版総合戦略」策定・推進をサポート

地方創生プロジェクト

県内自治体のニーズに応じた
オリジナル提案書を作成

とうほう・地方創生
結婚応援プロジェクト

マリッジパートナーズと連携し、
婚活イベントを開催

<地方創生>一市一町一村わがまの逸品

福島県内各地の54商品の通販カタログを企画
平成28年2月より販売開始



福島県、東京海上日動との連携協定締結

全国初

相互に連携、それぞれの資源を有効
に活用した協働による活動を推進



地方創生の実現

当行独自の投資ファンドの創設

第1号ファンド

(平成25年8月～平成28年4月)

「とうほう・次世代創業支援ファンド」

福島県内(10先)	宮城県内(4先)
アパレル、アプリ開発 太陽光発電、再エネコンサル 飲料販売、医療品開発 アニメ制作、ロボット開発 Webサービス品質検証	クリーニング業、植物工場 情報通信・ものづくり企画 衣料品関連

総投資額 10億円 投資終了

第2回

ふるさと応援「在京福島県経済人の集い」の開催

総勢250名参加

【主な参加者】

福島県ゆかりの経済人
県知事および各市町村長
商工会議所会頭など



平成28年2月2日 於：帝国ホテル

第2号ファンド

(平成28年4月～)

「とうほう・ふるさと総活躍応援ファンド」

創業期・成長分野などのお客さま

取組み中
第5号案件
まで決定

株式引受・社債引受

「とうほう・ふるさと総活躍応援ファンド」

出資

出資総額10億円

出資・運営

当行：9億9千万円

東邦リース・山田ビジネスコンサルティング：1千万円

次世代経営者の支援

○復興応援「とうほう次世代経営者倶楽部」(㈱タナベ経営様と提携)

会員数

880名
(うち女性35名)

○「とうほう次世代経営塾」
(1期～4期)

塾生

累計108名
(うち女性13名)



平成28年7月25日
於：郡山ビューホテルアネックス

2. ふくしまの“復興から成長”への貢献 (2) お取引先の販路拡大支援

第3回 「ふるさと応援！ふくしま酒まつり」



於：東京丸の内「丸ビル」

「ふくしまの酒」をPR

福島県酒造協同組合
ふくしま館MIDETTE
(福島県)等と連携
(平成28年4月)

入場者数:2千人
地酒セット販売数:2千セット

復興支援通販事業の企画・実施

県内産品の販売支援を目的
とした通販事業の企画・協賛



累計販売個数:160千個
累計販売金額:600百万円

【平成28年9月末までの累計】



第10回 食の商談会 ふくしまフードフェア



於：ビッグパレットふくしま

県内最大規模の食の展示・個別商談会
主催：当行、福島県、JA全農福島、農林中央
金庫福島支店 参加企業 約180社
(平成28年10月)

海外商談会の開催



於：バンコク国際貿易展示場

Mfairバンコク2016ものづくり商談会
お取引先 5社出展
(平成28年6月)



於：国家会展中心2号館

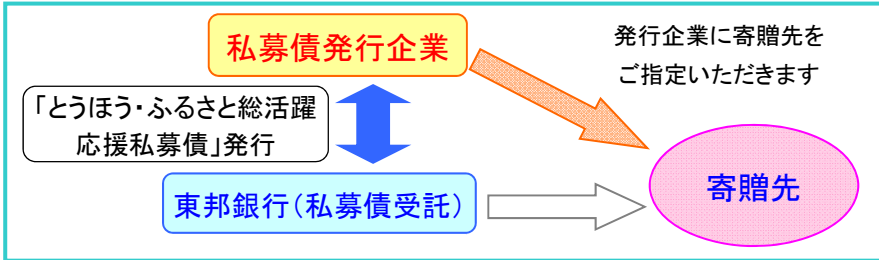
FBC上海2016ものづくり商談会
お取引先 5社出展
(平成28年9月)

2. ふくしまの“復興から成長”への貢献

(3) 多様な資金ニーズへの対応と海外マーケットへの進出支援

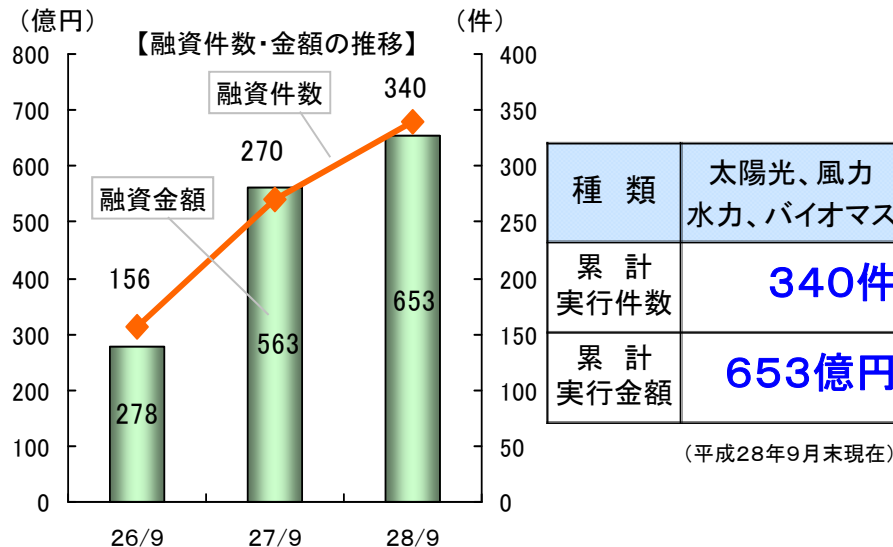
「とうほう・ふるさと総活躍応援私募債」(28/6取扱開始)

○発行手数料の一部から、お客さまのご希望の幼稚園、学校、福祉施設等へ備品・図書等を寄贈

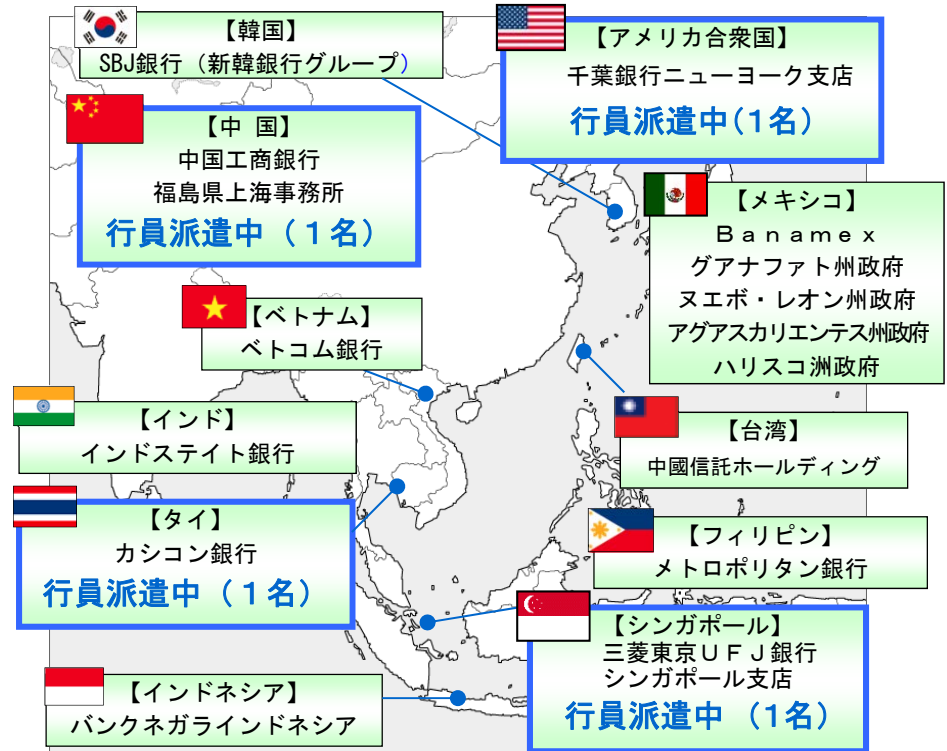


○取扱い件数
11件 / 910百万円 (平成28年9月末現在)

再生可能エネルギー分野への積極的な関与



海外銀行等との積極的な業務提携



ハラール認証取得支援

○福島県醤油醸造共同組合(二本松市)
認証品・・・ハラールしょうゆ(国産丸大豆仕込醤油)

ムスリム(イスラム教徒)の方は、宗教上の理由により食品などについては「ハラール(※)」対応が必要

(一社)ハラール・ジャパン
協会による認証

※ハラール・・・イスラムの教えで許された、「健全な商品や活動」を意味

訪日ムスリムや在日ムスリムの方にも安心安全な食品を提供

2. ふくしまの“復興から成長”への貢献 (4) 経営課題提案型営業[®] 事業再生支援等の取組み

円滑な事業継承支援・M&A業務の取組み

- 営業店と本部が連携し課題解決に向けたサポートを実施
- 外部専門機関と連携し、個社毎のサポート体制を構築

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度上期
対応先数	264	280	323	260

○M & A 関連業務の実績

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度上期
相談対応件数	59	57	70	29

○日本M&Aセンター主催「バンクオブザイヤー表彰」

(地銀62行加盟)

平成26年

“バンクオブザイヤー”(最高賞)を受賞

平成27年

“ディールオブザイヤー”と“特別賞”
をダブル受賞(成約案件優秀賞)

平成28年

“地域貢献大賞”を受賞

【M&A】企業や事業の譲渡・合併・買収等の総称

3年連続受賞



プライベートバンキング推進室の設置

お客さまの多様な資産継承・資産運用ニーズに関する専門的かつ幅広い相談にお応えすることを目的として設置、各部と連携し経営課題にも一元的に対応

復興支援・事業再生支援の取組み

復興支援ファンド

出資合計実績:23件/約50億円

- ふくしま応援ファンド ファンド総額50億円
- 東日本大震災中小企業復興支援ファンド ファンド総額88億円
- ふくしま復興・成長支援ファンド ファンド総額50億円

二重ローン債権支援

実績:59件/約45億円

	支援決定買取決定済
福島産業復興機構	27件
東日本大震災事業者再生支援機構	32件

事業再生支援の実績

<主な連携外部機関>

- 地域経済活性化支援機構
- 福島県中小企業再生支援協議会
- 福島産業復興機構
- 東日本大震災事業者再生支援機構
- 個人版私的整理ガイドライン運営委員会



(平成28年6月28日 福島民報 朝刊)

	企業数	従業員数	融資額
支援協議会	13先	1,016人	133億円
地域経済活性化支援機構	4先	1,456人	126億円
その他私的再生	25先	2,460人	305億円
法的再生	5先	1,622人	208億円
合計	47先	6,554人	772億円

3. お客さまから選ばれる銀行づくり (1) 個人のお客さまに向けた取組み

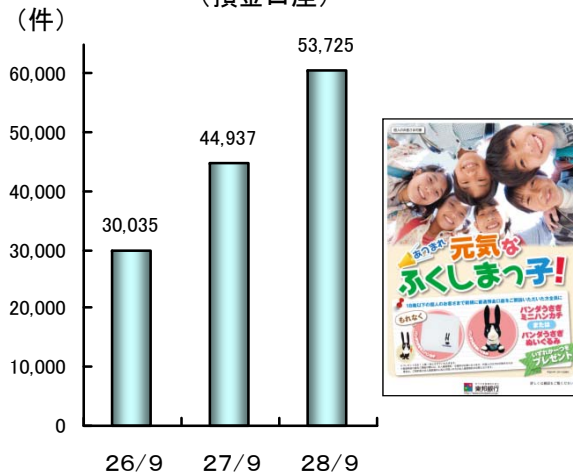
「赤ちゃん世代」から「シニア世代」まで、ライフサイクルに応じて多様なニーズに対応した商品をご提案

誕生～若年層

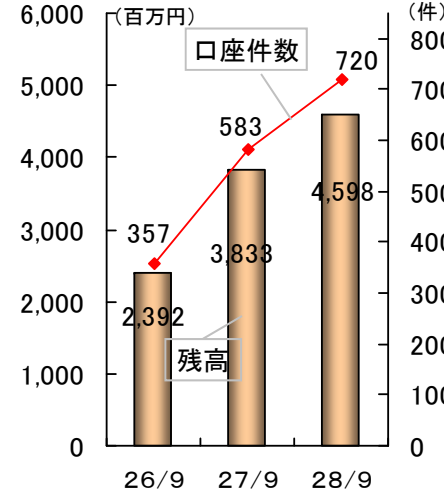
現役層

シニア層

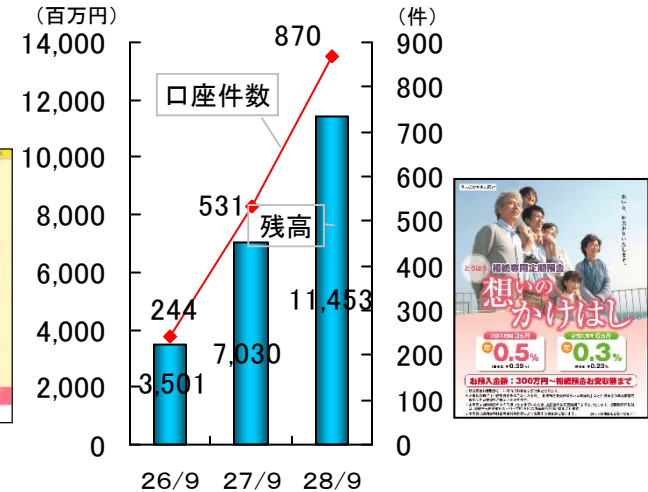
「あつまれ 元気なふくしまっ子！」
(預金口座)



教育資金専用口座「未来・ふくしまっ子」



相続専用定期預金「とうほう・想いのかけはし」



カード事業への取組み(クレジットカード・即時決済カード)

東邦A I w a y sカード (銀行本体発行)

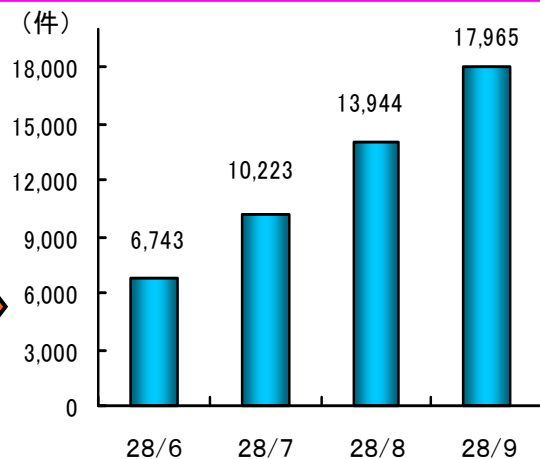
東北地銀「初」 30万会員到達

(平成27年9月25日)

(一体型キャッシュカード・クレジット単体カード含む)



デビットカード会員数推移(平成28年6月より取扱開始)



デビットカード<JCB>取扱開始

- 利用代金を口座から**即時決済**
- 国内外問わずJCB加盟店で利用可能

東北地銀「初」



取扱開始2ヶ月で
1万会員突破

3. お客さまから選ばれる銀行づくり (2) 資産運用のお手伝い

とうほう証券株式会社の開業

東北・北海道地区
「初」の地銀系証券

○お客さまの様々な
資産運用ニーズに
ワンストップで対応



平成28年4月5日 福島支店オープニングセレモニー

- 【店舗一覧】福島支店（東邦銀行本店営業部内）
郡山支店（東邦銀行郡山営業部内）
会津支店（東邦銀行会津支店内）
いわき支店（東邦銀行いわき営業部内）
原町営業所（南相馬市内）

非対面チャネルによるお客様の利便性向上

インターネットによる
投資信託申込み



申込手数料の
優遇幅拡大

インターネットによる
保険商品申込み



取扱商品の
拡大



インターネット専用保険商品
の取扱開始



グループ全体の預かり資産残高

(単位:億円)

項目	26/3	27/3	28/3	28/9
グループ合計	4,486	4,573	4,614	4,615
投資信託	841	1,017	950	926
生命保険	2,050	2,370	2,737	2,740
金融商品仲介	1	5	80	71
公共債	1,594	1,181	847	775
外債・仕組債	-	-	-	51
株式	-	-	-	22

「ほけんの相談窓口」

生命保険専用相談窓口「ほけんの相談窓口」を県内5ヶ店
に開設(土・日も営業中)

【店舗一覧】

- ローンプラザ福島支店
八山田支店
新白河支店
滝沢支店
いわき鹿島支店



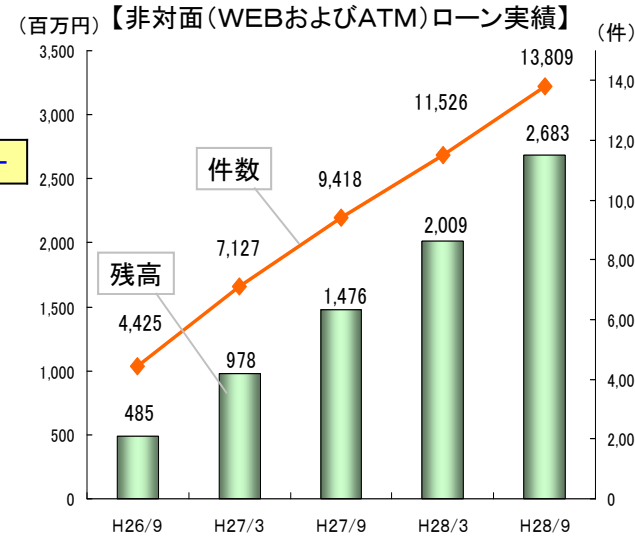
3. お客様から選ばれる銀行づくり (3) 個人のお客様向けローンの取組み

ローン専門店の体制



非対面チャネルによるローン申込み

○TOHOスマートネクスト「WEB契約」
○ATMカードローン



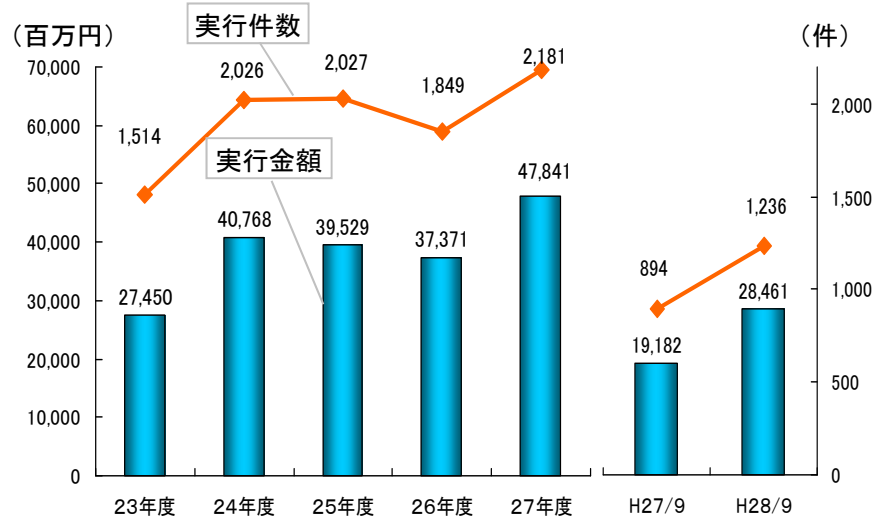
平成27年10月取扱開始
TOHOスマートネクスト
○申込から契約まで
全てWEB上で完結
(来店不要)

【資金用途】
自由

【利用方式】
カードローン
一括借入

【利用金額】
30～500万円

ローン専門店の住宅ローン実行件数・実行金額推移



住宅ローンの推進

○「東邦スーパー住宅ローンプラス7」

【対象資金】

住宅資金の100%、さらに
諸費用・目的資金や他の
ローンのおとりまとめ資金も
最大700万円まで
プラスご融資



3. お客さまから選ばれる銀行づくり (4) 店舗・チャネル戦略

店舗戦略（震災以降）

<p>【店舗統合】 北福島支店 (23年2月)</p> 	<p>【新設】 八山田支店 (24年11月)</p> 	<p>【店舗移転】 矢吹支店 (25年3月)</p> 	<p>【店舗建替】 郡山中町支店 (26年4月)</p> 
<p>【新設】 名取支店 (26年5月・27年7月)</p> 	<p>【店舗建替】 谷川瀬支店 (26年11月)</p> 	<p>【店舗移転】 滝沢支店 (27年10月)</p> 	<p>【新設】 米沢支店 (28年4月)</p> 
<p>【店舗再開】 檜葉支店 (28年4月)</p> 	<p>【店舗再開】 小高支店 (28年12月予定)</p> 	<p>【店舗移転】 三春支店 (29年4月予定)</p> 	<p>【店舗建替】 郡山駅前支店 現在、仮店舗 営業中。 オープン日決定 次第お知らせい たします。</p> 

<福島県外店舗の移転>○水戸支店(24年12月)
○新宿支店(25年7月) ○新潟支店(25年7月)

<土・日営業実施店舗>

○北福島支店 ○八山田支店 ○郡山東支店
○滝沢支店 ○谷川瀬支店 ○いわき鹿島支店

東邦銀行ならではのATMサービス

ますます便利に！

東北唯一

店内ATMコーナーの
営業時間は
毎日朝7時～夜10時

いつでもご利用OK!

(27年6月開始)

東邦銀行本支店宛の
お振込みは
毎日朝7時～夜10時

土日もお振込み!

(27年6月開始)

お預入れ、お引出しは
毎日朝7時～夜10時

いつでも無料!

(25年4月開始)

移動店舗車「とうほう・みんなの移動店舗」

○避難されているお客さまへの利便性提供

【営業ポイント】

- ・いわきニュータウン
- ・富岡町複合商業施設予定地
- ・小高区役所前

(平成28年10月1日現在)



○不測の事態にも金融サービスを提供できる体制整備

人型ロボット「Pepper (ペッパー)」

東邦銀行へようこそ！
ペッパーです！

【配属店】

本店営業部・郡山営業部
会津支店・いわき営業部
名取支店

福島県内
金融機関
「初」



4. 持続可能な企業体質の確立

(1) 地方銀行連携・フィンテック分野への取り組み



TSUBASA金融システム高度化アライアンスへの参加

TSUBASA金融システム高度化アライアンス



「T&Iイノベーションセンター株式会社」設立

(平成28年7月1日)

フィンテックを活用した
新たなビジネスモデルを共同で検討

平成28年10月26日リリース

人工知能技術活用に向けたプロジェクトの開始

平成28年10月31日リリース

フィンテックビジネスコンテストの開催

平成28年11月7日リリース

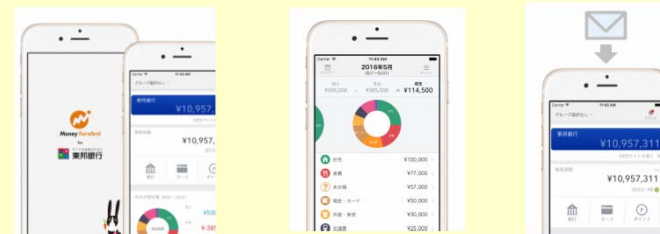
てのひら認証決済の実証実験を開始

株式会社マネーフォワードとの資本業務提携・出資

「マネーフォワードfor東邦銀行」

＜サービス概要＞ 家計簿の自動作成
インターネットバンキングとの連携
東邦Alwaysカード・Alwaysデビットカード(JCB)との連携

東北地銀
「初」



すべて自動で
家計簿作成

節約ポイントが
ひと目でわかる

東邦銀行からお得な
お知らせをお届け

ロボ・アドバイザー「ポートスター」の提供開始

投資信託ロボ・アドバイザー「ポートスター」

＜サービス概要＞

当行ホームページでお客さまに適した
資産配分を自動的にご案内



国内外為替コンソーシアムへの参加（運営幹事行）

事務局：SBIホールディングス株式会社等（参加42行）

当行は運営幹事行として参加。フィンテックの新技术を活用し、
国内外為替を一元化した24時間リアルタイムでの送金インフラ
構築を目指す。

FinTech(フィンテック)とは「Finance」と「Technology」の2つを
併せた「IT技術を活用した金融サービス」



4. 持続可能な企業体質の確立 (2) 人材育成への取り組み

研修所「とうほう庭坂キャンパス」全面リニューアル



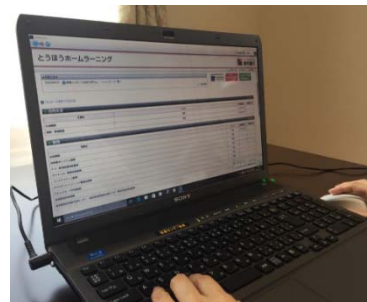
東北地銀「初」 「模擬店舗」

窓口業務を実際の設備で学ぶことができる施設



eラーニングシステム「とうほうホームラーニング」

○自宅のパソコンで
在宅による自己啓発
業務知識の習得



行外研修派遣

派遣数は地方銀行トップクラス

- 地方銀行協会研修派遣
- 全国銀行協会研修派遣
- 金融財政事情 FP養成派遣
- 生命保険会社派遣
- 証券会社派遣
- 日本生産性本部派遣
 - ・経営コンサルタント養成講座
 - ・ダイバーシティ・マネジメント・カレッジ
- 中小企業大学校派遣
 - ・中小企業診断士養成課程
- 大学院・大学校派遣
 - ・慶應義塾大学ビジネススクール(経営幹部セミナー)
 - ・グロービス経営大学院(エグゼクティブ・スクール/GES)
 - ・グロービス経営大学院(マネジメント・スクール/GMS)
 - ・東洋大学大学院(PPPスクール(注))
 - ・福島大学人文社会学群(夜間・現代教養)
- 官公庁、一般企業等への派遣
 - ・国交省、福島県、福島市などの官公庁
 - ・3メガバンク、政府系金融機関
 - ・大手監査法人・大手税理士法人
 - ・東北観光推進機構
 - ・官民ファンド
 - ・大手商社
 - ・大手M & A 仲介会社
 - ・大手再生可能エネルギー事業会社
 - ・大手不動産会社
 - ・大手シンクタンク
 - 他

(注) PPP (Public Private Partnership : 公民連携)

4. 持続可能な企業体質の確立 (3) 多様な働き方の推進と働きがいの向上 (若手からシニアまで)

「仕事と家庭の両立」支援体制の拡充

職員向け保育施設“とうほう・みんなのキッズらんど”

福島市 (平成26年10月)



郡山市 (平成28年1月)



全国初 独自の休暇
“イクまご休暇”

14名取得
(うち男性1名)
(平成28年9月末現在)

- 孫のための育児休暇制度
- 働く親世代を支援する取組み



独自の休暇 “介護休暇”

- ご家族の介護のための休暇制度

女性の活躍推進

女性活躍推進法に基づく優良企業認定
“えるぼし”を取得

- 厚生労働大臣の認定(愛称「えるぼし」2段階目)を取得



女性活躍推進法に基づく行動計画の策定

- 計画期間:平成28年4月1日～平成32年3月31日
- 目標:全役席者に占める女性の割合 **20%以上** (15.3%)
※28年10月1日現在
- 女性総合職の平均勤続年数 **15年以上** (5.5年)
※28年3月31日現在

「多様な働き方」に向けた取組み

「朝型勤務」

毎朝6:30から勤務可能

業務効率の上がる
勤務時間の“朝型シフト”



「フレックスタイム制」

- 従業員が日々の始業・終業時間を選択
 - ・コアタイム(必須勤務時間11:00～16:00)
- 1カ月単位で勤務時間を精算

効率的な時間配分・柔軟かつ多様な働き方の実現

「ノー残業デー」

毎月毎週水曜日と任意の1日
“活き活きリフレッシュデー”

「年次有給休暇取得促進」

連続休暇の分割取得可能

柔軟に年次有給休暇が取得可能

4. 持続可能な企業体質の確立 (4) 活発なクラブ活動

「陸上競技部」「野球部」をはじめ「吹奏楽部」「合唱部」など16クラブ総勢300名が活動中

陸上競技部



全日本実業団 女子4×100mR
大会6連覇



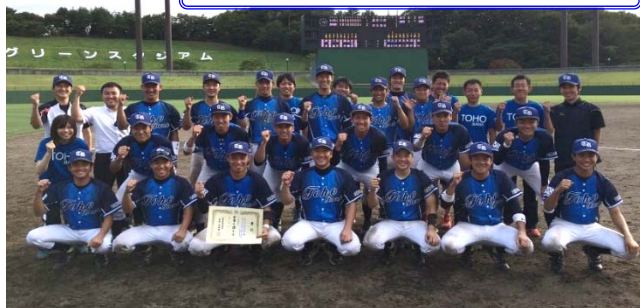
2016ジャパンパラ陸上競技
選手権大会
【視覚障害T13クラス】
○女子100m、**日本新記録**で優勝
(佐藤選手)
○女子200m、**日本新記録**で優勝
(佐藤選手)
○女子400m、**日本新記録**で優勝
(佐々木選手)

全日本実業団 女子100mH
優勝 大会新記録で敢闘賞受賞



野球部

水戸市長旗第24回東日本選手権
福島県大会優勝 全国大会出場



TOHOカルテット



サッカー部



合唱部・吹奏楽部



そば打ちクラブ



シーガルトニスクラブ



ランナーズクラブ



「とうほう・みんなのドリーム号」

- 研修や野球部など行内
クラブ活動時に活躍
- 災害時の人員・物資輸送等
にも活用

4. 持続可能な企業体質の確立 (5) 障がい者が働きやすい職場づくり

株式会社とうほうスマイル

東北・北海道地区初

ハンディキャップを持つ社員が中心となる特例子会社
(平成24年3月設立)



当行、とうほうスマイルの障がい者雇用総数 (平成28年9月1日現在)

61名

「障害者雇用促進法」
法定雇用率2%を充足

障がい者雇用の優良企業として、平成26年9月に
「高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長努力賞」を受賞



2016ジャパンパラ陸上競技大会での当行選手の活躍



『とうほうスマイル』の掲載記事

障害者雇用の先進事例

知事「とうほうスマイル」視察

「県も取り組み進める」

内閣府は、障がい者雇用の先進事例として、とうほうスマイル(福島県)を視察した。同社では、障がい者雇用の促進を図るため、県内各地に支店を開設し、積極的に採用を進めている。同社は、障がい者雇用の促進を図るため、県内各地に支店を開設し、積極的に採用を進めている。同社は、障がい者雇用の促進を図るため、県内各地に支店を開設し、積極的に採用を進めている。

平成28年7月20日
福島民友
福島県知事視察

障害者雇用可能性探る

東邦銀行「とうほうスマイル」特性見極め業務拡大

東邦銀行は、障がい者雇用の促進を図るため、県内各地に支店を開設し、積極的に採用を進めている。同社は、障がい者雇用の促進を図るため、県内各地に支店を開設し、積極的に採用を進めている。同社は、障がい者雇用の促進を図るため、県内各地に支店を開設し、積極的に採用を進めている。

平成28年6月3日
河北新報
障がい者雇用特集

4. 持続可能な企業体質の確立 (6) 地域貢献活動 (CSR) の取り組み

(公財)東邦銀行教育・文化財団

文化・スポーツ活動助成事業

これまでの助成実績
助成先 約820団体
助成総額 約1億円

奨学金事業

これまでの給付実績
奨学生 約450名
給付総額 約2億6千万円

(公財)東邦銀行教育・文化財団附属
「原郷のこけし群 西田記念館」の運営



原郷のこけし群 西田記念館
福島市荒井字横塚3-183(アンナガーデン内)
開館時間 AM9:00~PM5:00

ネーミングライツ(命名権)の取得

スポーツ活動振興

名称 「とうほう・みんなのスタジアム」
期間 平成25年5月~平成30年3月

文化活動振興

名称 「とうほう・みんなの文化センター」
期間 平成28年4月~平成33年3月



金融経済教育

とうほう親子金融教室

【対象:小学生】
お金の大切さや使い方などについて楽しく学んでいただくために開催



とうほうみんなの金融教室

【対象:中学生】
貯蓄の重要性や金融機関の仕事について学んでいただくために開催



エコノミクス甲子園福島大会

【対象:高校生】
クイズ大会を通じて、金融経済の知識を深めていただくために開催



福島大学への提供講座

地域金融論【対象:大学生】
地域金融機関の機能と役割等に造詣を深めていただくために開催



環境保全活動

とうほうみんなの森づくり

○平成21年度より実施
している役職員や家族
による植林活動



4. 持続可能な企業体質の確立 (6) 地域貢献活動 (CSR) の取組み

地域の文化・スポーツ振興イベント等への協賛



熊本地震被災地への寄付



Jヴィレッジへの寄付



第69回全国植樹祭への協賛



地域スポーツチームへの協賛等



パンダハウス(注)への寄付

(注) 病と闘う子どもと家族のサポートハウス

5. 創立75周年記念事業 ～75年の感謝を込めて～

創立75周年記念事業の開催

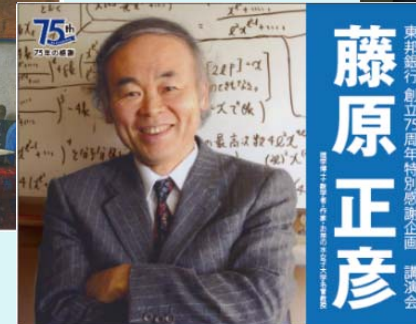
- 「1. 地域への感謝」 「2. お客さまへの感謝」 「3. 株主の皆さまへの感謝」
「4. 先輩・従業員への感謝」 「5. 未来に向けて」

実施時期	主な75周年事業
平成28年4月	福島県文化センターのネーミングライツ取得 「フェルメールとレンブラント展」への協賛
平成28年5月	葉加瀬太郎コンサートの開催
平成28年6月	記念配当の実施 (50銭増配・年間8円50銭)
平成28年9、10月	年金ふれあい倶楽部感謝企画 「島津亜矢コンサート」の開催
平成28年10月	Jヴィレッジ復興・再整備事業への寄付 とうほう地域総合研究所定期講演会 桑田真澄氏講演会への協賛
平成28年11月	藤原正彦氏記念講演会の開催 75周年記念式典の開催 75周年お客さま感謝Day

【フェルメールとレンブラント展】



【葉加瀬太郎コンサート】



【お客さま感謝Day】



【記念配当の実施】

平成28年3月25日

各位
株式会社東邦銀行
取締役 北村 清士
(〒981-8346、東証第一部)
問合せ先 総合企画部長 矢吹 克一
(TEL: 024-523-3131)

創立75周年「記念配当」に関するお知らせ

株式会社東邦銀行(頭取 北村清士)は、平成28年3月25日開催の取締役会において、下記のとおり記念配当を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 記念配当の実施について
当行は本年11月4日に創立75周年の節目を迎えることから、株主の皆さまのこれまでのご愛顧に感謝し、当期末の1株当たり配当金につきまして、記念配当として50銭増配し年間8円50銭とするものであります。

5. 創立75周年記念事業 ～75年の感謝を込めて～

東邦銀行「愛唱歌」「応援歌」

愛唱歌：愛の歌が聴こえるか？

愛の歌が聴こえるか？
風の中 どこからか・・・ 陽射しよりも暖かい
誰かの歌声よ

悲しい時 耳を澄まし 瞳閉じてごらん
胸の奥の 雨も上がる

人は人を支えてる 思いやり信じよう
この街の片隅で 希望が歌になる

愛の歌が聴こえるか？
人生の折々で・・・ 励まされた故郷(ふるさと)の
みんなの歌声よ

もしも君がしあわせなら 微笑んで歌おう
夢のような 虹が架かる

一人きりじゃないんだよ いつだってそばにいる
この街にあふれてる やさしいこのメロディー

作詞：秋元 康 作曲：三枝 成彰

応援歌：我らならば

夢に向かって進め！
振り返らずに進め！
道は険しくとも 一歩ずつ歩いて行(ゆ)くんだ

栄光の未来は この道の先にある
そう 合言葉は 我らならば 必ずできる

汗を拭(ぬぐ)って前へ！
何があっても前へ！
どんな高い山も 一歩ずつ登って行(ゆ)くんだ

新しい夜明けは 暗闇の後に来る
さあ 合言葉は 我らならば 勝利を掴む



本資料には、将来の業績に係る記述が含まれておりますが、こうした記述は、将来の業績を保証するものではありません。

将来の業績は、経営環境等の変化等により異なる可能性がありますのでご留意ください。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

東邦銀行 総合企画部

TEL 024-523-3131

FAX 024-524-1425